

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		公達雨水幹線整備事業						予算事業名		公達雨水幹線整備事業費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	道路法								
				08	02	02	2004	経常経費	根拠法令								
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分		主要事業						
		2-2ゆとりある住みよいまちづくり(住環境)															
		②良好な住環境の形成															
		2道路排水の整備推進							担当課係等		土木課						
事業期間		継続 (平成28年度～令和 2年度)										維持係					
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
排水施設(側溝・排水管)を作ることにより、人や車両が安全に通行できる。								市道3170号線の雨水側溝に、県道結城野田線・国道50号線の雨水が流入しており、大雨・ゲリラ豪雨等の時に側溝から雨水が溢れて道路が冠水している状況である。そのため、排水路へ流れ込む流末側から整備し、上流からの流量に耐えうる冠水対策を実施するものである。									
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】									
排水施設(側溝・排水管)の設置								道路の利用者									
全体延長L=733.2m ボックスカルバート(700*700)L=166m ボックスカルバート(900*900)L=352.2m 自由勾配側溝(900*1000～1200)L=60m 自由勾配側溝(900*900)L=144.3m 集水桝 13基								【事業をとりまく環境の変化】 住みやすさが求められる中で、道路や住環境の安全性への意識は非常に高まっている。									
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】									

■事業費

		R01年度		R02年度				
財源内訳	国庫支出金	17,500	6,000					
	県支出金	0	0					
	地方債	15,700	8,000					
	その他	0	0					
	一般財源	2,800	4,000					
歳入計(千円)		36,000	18,000					
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)					
	14 工事請負費	36,000	18,000					
歳出計(千円)(A)		36,000	18,000					
伸び率(%)			-50.00					
備考	総合計画 83ページ 予算書 140ページ							

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	排水施設(側溝・排水管)の設置延長	m	目標	180.00	268.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	排水整備率	%	目標	88.00	100.00	0.00
			実績	54.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	ますます必要性は高くなっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在のやり方が一般的であり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	効率は徐々に高まっている（コストは徐々に下げられている）。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね目標水準に達している。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	当初、3か年での計画であったが遅れて完了した。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
他の事業に比べてコストが高い為に事業完了に期間を要したが、令和2年度完成予定である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 本事業個所は、緊急輸送道路に指定されていることや、通学路となっていること、また近年のゲリラ豪雨による浸水被害軽減のためにも早期完成を目指す。財源は補助事業で実施する。また、幹線の整備終了後、枝線の整備の検討を予定する。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	